事例No.	2777
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	一般社団法人KAKEHASHI

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・副業・兼業活用

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

横須賀市役所初、公務員が副業のために法人を設立して行う地域貢献活動

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集



横須賀市役所初、公務員が副業のために法人を設立して行う地域貢献活動

一般社団法人KAKEHASHI

DATA

事　　例　名：一般社団法人KAKEHASHI
所　　在　地：神奈川県横須賀市
連　　絡　先：TEL 090-1505-1676
　　E-mail mail@kake-hashi.info
ホームページ：https://kake-hashi.info

取組の概要

自分が住む街を良くしたいと願う若い世代の声が埋もれている現実を知り、公務員としてこの声を市政に反映しなければならないと感じたが、公務員だからこその限界にぶつかる。そんな中で導き出した「違う立場で活動する手段」。前例のない副業での法人設立を実現するために市長に直談判し、行政と民間企業の立場の長所を生かした地域のための活動をしている。

評価された点

●現役公務員が副業として法人を設立し、地域貢献につながる多様な事業を展開し、成果を上げている点を評価。
●地域活性化には公務員が地域に飛び出すことが必須であるが、さまざまな理由で挫折した人も数多くいると思われる。そのような人たちやこれからの公務員の希望となる事例だと感じた。
●一公務員が職業の限界突破を目指した勇気を誉めたい。仲間が増えて取り組みが輻輳化していけば、地域活性化のシナジーが増すと思われる。公務員の職種に関わらず個人の可能性を示す取り組みといえる。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ 2018年～
研修で街の声を聞く活動を通じて感じた「市民の皆様の住む街への想い」。
その声を市政に反映することが横須賀をよい街にすることにつながると感じる。

・若い世代の声は行政には届いていない。
・研修で終わらせてはいけない。

2019年～

自主活動期間

・声を聞く活動を継続するが、自主活動の限界を感じる。
・継続性を持たせる手段として法人設立を決意。



・前例のないことのため、ほぼすべてを自力で整備。
・横須賀市をよくするための手段として法人化。

2020年5月～

一社）KAKEHASHI設立

ビジョン：熱い想いを持つ人の想いを実現する架け橋となりその想いを実現し、世の中をもっとよくする。



・新型コロナによる自粛。そんな中、地元生産者を支援するため、自主活動期間で実施した勉強会を通じて企画・開発したSUCOYACA Pureeの販売に踏み切る。

2020年10月～

本格的に事業開始

・SUCOYACA Pureeの販売。
・その他、地元企業の雇用支援や性教育事業等多岐に渡る。
・市長特別賞や民間企業のアワードを受賞。

・自力では難しい事業も、さまざまな企業とパートナーとなることで実現していく。

・売り上げで地元民間親子サロンに教育玩具を寄付。利益を地域に還元する。

2021年6月～

世界に目を向けた事業展開

・国内外で活躍する地元ケーキ店とパートナーとなり、地元の野菜等を使用したケーキを開発して食材の良さを世界に発信。



2022年2月～

横須賀の良さを知ってもらう

・知るきっかけづくりとして、KAKEHASHIだからこそできるワーケーション事業を展開。

今後の展望

・小さな企業のメリットを生かしたスピード感と柔軟性。
・行政職員と民間企業の長所を生かした地域貢献。
・声を聞く活動の継続。

受賞者のコメント

私たち公務員は地域のために多くのことができますが、公務員だからこそできないことがあります。そこで、副業という手段で地域の人のために働く仕組みを作りました。
全国には、地域を想い、本業以外で活動をする多くの公務員がいます。そんな公務員が職場でも評価され活躍する世の中を作ることは、明るい未来づくりへつながると考えています。
この度の受賞によって、地域を想う公務員の背中を押すきっかけとなり、私たちのような働き方が全国に広がっていくと嬉しいです。